

## (案)

令和3年12月 日

阿賀野市長 田中 清善 様

阿賀野市総合計画審議会  
会長 武田 真

## 答 申

令和3年10月1日付け阿財第350号をもって本審議会に諮問があった事項について、下記のとおり答申します。

## 記

## 1. 阿賀野市総合計画及び阿賀野市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況及び指標の改訂について

## 【答申内容】

## (1) 進捗状況について

阿賀野市総合計画及び阿賀野市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗について、前期基本計画の終了年度である令和2年度は、前年度と比較して「向上」している成果指標が令和元年度よりも増加しており、また、前期基本計画において設定した目標値を達成している成果指標についても同様に増加している状況にあることから、前期基本計画は概ね順調であったと認めます。その一方で、前期基本計画策定時における基準値を下回る状況となっている成果指標も一定数見受けられました。

今年度からは後期基本計画が新たにスタートしたことから、PDCAサイクルに基づく経営資源の適切な配分や業務の見直しの徹底を図りながら、引き続き、まちづくりの目標である「元気で明るく活力のある魅力的なまち」の実現に向けた取組をより一層推進していただくよう期待します。

## (2) 指標の改訂について

阿賀野市総合計画及び阿賀野市まち・ひと・しごと創生総合戦略の指標の改訂については、計画の進捗状況を適切に把握するためのものであり、妥当なものであると認めます。

## 2. 地方創生関係交付金事業の進捗状況について

### 【答申内容】

ハクチョウの湖「瓢湖」周辺向上計画について、令和2年度においてはいずれのKPIも目標及び前年度の実績を大きく下回っている状況ですが、これは新型コロナウイルス感染症の流行による影響を大きく受けているものと認められます。

新型コロナウイルス感染症の流行により、ライフスタイルや価値観は従来のものから変化してきていることから、今後については、これらの変化に柔軟に対応しながら、瓢湖の持つ豊かな自然環境などの魅力をより積極的にPRするとともに関連するイベントと連携するなど、ウィズコロナ及びアフターコロナを見据えた取組の推進を期待します。

以 上